

「うれしい!! ありがとう」

学校長 梅田 比奈子

先日、体育館で昔遊びの会が行われました。1年生の子どもたちが、様々な昔遊びの名人から教えてもらい、楽しく活動していました。昔遊びは、コツが必要なものがたくさんあります。子どもたちだけではなかなかできなかったことが名人から教えてもらい、何度も練習する中でできるようになっていきます。冒頭の見出しは、ある子どもの言葉です。「できるようになった。うれしい。」満面の笑みで、できるようになったことを喜んでいました。そして、その後、その子どもは、名人のところに走り行き、「おしえてくれてありがとう!!」と笑顔で伝えました。名人も笑顔です。



5年生は、近隣のこども園、保育園と関わり、園児や園の先生から様々なことを学びました。それは、言葉で伝えられたことだけでなく、表情やふれあいの中からうまれた学びでもあります。そして、先日、保育園の子どもたちが、サプライズで、自分たちでつくったクリスマスリースとカードを先生と瀬小に届けてくれました。受け取った5年生の子どもたちは、本当にうれしそうで、ほわっとした空気に包まれました。

今までもお伝えしたように、子どもたちは、様々な人と関わりながら学びを続けています。そして、その中で、今まで知らなかったことが分かったり、気がつかなかった自分に出会ったりします。11月30日には、「日立神奈川子どもサミット」というイベントで、6年生が発表し、SDGs 大賞を受賞しました。発表の日、子どもたちがとても緊張し、でも自分たちが考えたことを堂々と話す姿が、とても立派に見え



ました。それも、人との出会いがあり、新しい知識を獲得し、考えを深めていった一つの姿だと思います。自分たちの地域から、金沢区、横浜市、そして、神奈川県、全国へ。子どもたちの見える世界、関われる世界はどんどん広がっていきます。そして、学びの根底にあるのが、瀬ヶ崎のまちにある、あたたかな出会いだと思います。先日行われた「ふれあいフェスティバル」でも、そんな出会いから生まれた子どもたちの姿を見ていただけたのではないかと思います。今年のテーマは、「輪『みんなでつながる』和『令和初』笑『笑顔あふれる』瀬ヶ

崎っ子」でした。それぞれがつながり、笑顔で発表できたのではないかと思います。参会の方にも、子どもたちの素直に頑張る姿、あたたかい雰囲気等お褒めの言葉をたくさんいただきました。今後も、子どもたちと共に、いろいろな場面で「うれしい!! ありがとう」の言葉が自然に出せるように、頑張っていきたいと思っています。

今年も様々な教育活動に、御協力御支援を頂き、ありがとうございました。

交通安全について

今までも子どもたちに話をしていますが、道路の歩き方、自転車の乗り方、また、ローラーブレード等の乗る場所など、もう一度ご家庭で確認していただければと思います。自分自身がけがをするだけでなく、けがをさせてしまうこともあります。楽しい冬休みになるように、よろしくお願いたします。